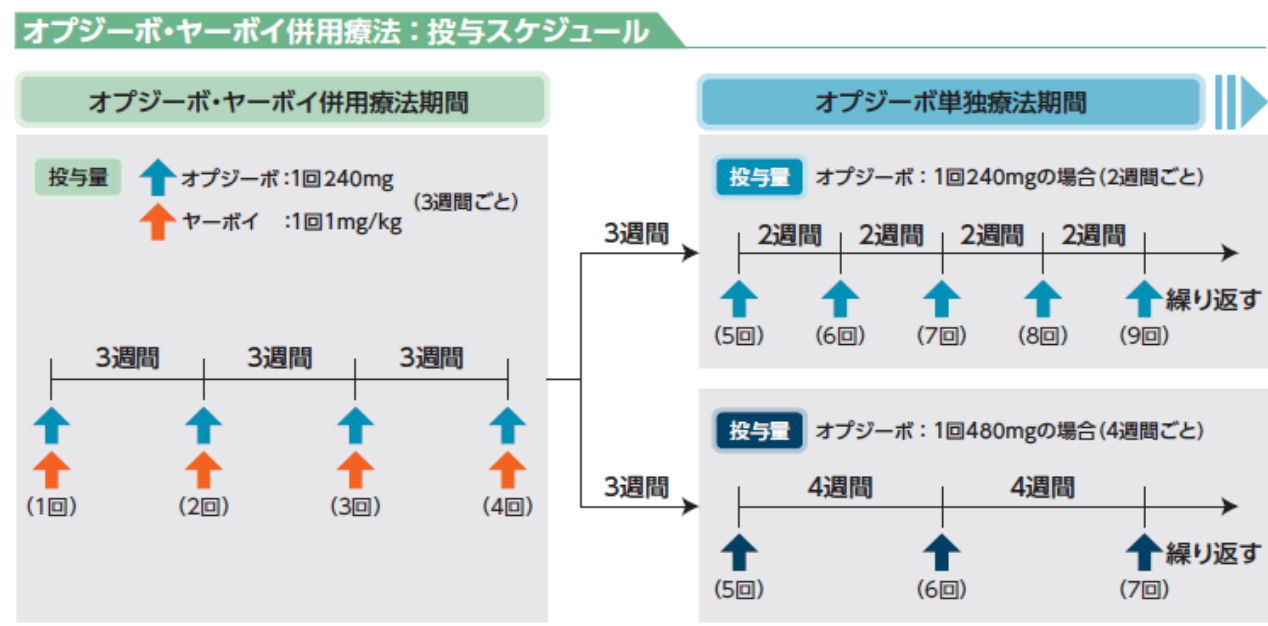


レジメンcode:	C18-63	備考
適応がん種:	大腸癌	
レジメン名:	Nivolumab+Ipilimumab	
間隔:	3週間[*1]	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	オプジーボ	[*1]240	mg/body	点滴(30分)	d1
	ヤーボイ	1	mg/kg	点滴(30分)	d1

[*1] C18-63:Nivolumab+Ipilimumabを3週間隔で4コース実施後、3週間後にC18-64:Nivolumab:オプジーボ1回240mgを2週間隔またはC18-65:Nivolumab:オプジーボを1回480mgを4週間隔へ移行する。



day1

1) 生食	50ml	1 本	ルート確保		
<hr/>					
2) オブジーボ		240 mg/body			
生食	100ml	1 本	(フィルター必須)		
	主管①	点滴	30分	30分以上かけて投与すること	
<hr/>					
3) 生食	50ml	1 本			
	主管②	点滴	30分		
<hr/>					
4) ヤーボイ		1 mg/kg			
生食	30ml	1 本			
	主管③	点滴	30分	インラインフィルター必須	
<hr/>					
5) 生食	50ml	1 本	フラッシュ用		
<hr/>					

〈所要時間 約2時間〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【CheckMate-8HW試験 N Engl J Med 2024;391:2014-26 (PMID:39602630)】

【適応】

*治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫初回)(免疫2回目～)

*インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)を使用する。

*ヤーボイは1～4mg/mlの濃度に希釈して投与する。

*他剤との混合注射はしない。

*特に注意する副作用(間質性肺炎、1型糖尿病、肝機能障害、肝炎、大腸炎、甲状腺機能障害、infusion reaction)。

*適正使用ガイドの有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連)対処方法を参照する。